

生命保険について知ろう

- 1 教材名：生命保険について知ろう
- 2 目標：生命保険について知り、危険に備えるしくみに興味をもつ
- 3 学習展開：45分



教師用アンケート

	スライド	教師の主発問・指示	留意点
導入	<p>1 家族や自分に起きるかもしれない危険（リスク）について考えよう</p> <p>考えられる危険に○をつけましょう。一番心配なことに◎をつけましょう。</p> <p>(各自が考えて下さい)</p>	<p>1 家族や自分に起きるかもしれない危険（リスク）について考えよう</p> <p>考えられる危険に○をつけましょう。 一番心配なことに◎をつけましょう。</p> <p>・身の回りにはたくさん危険があることを確認する。</p>	<p>・テキストを紙かデータで配付する。</p> <p>・どこに○や◎を付けたか挙手させ、傾向をおさえる。</p> <p>・他に起きるかもしれない危険について意見交流させてもよい。</p> <p>・あまり危険をあまりすぎないようにする。</p>
展開	<p>2 危険（リスク）にそなえる方法を見つけよう</p> <p>(1) 危険（リスク）が実際に起きたら、どのようなことになるか推測してみましょう。 自分のほか、高熱、家族の入院（欠入）、家の災害</p> <p>(2) 危険（リスク）に、そなえる（準備する）ために、あなたならどうしますか。 選んで□に○をつけましょう。</p> <p>① 預貯金しておく □ (貯蓄の準備) (貯蓄の準備) (貯蓄の準備) ② 生命保険に加入 □ (各自が考えて下さい) ③ 預貯金、生命保険の両方備える □</p> <p>④ 読みました</p>	<p>2 危険（リスク）にそなえる方法を見つけよう</p> <p>危険が実際に起きたら、どのようなことになるか線で結びましょう。</p> <p>・実際に起こった時にどうなるか答えと照らし確認する。</p> <p>危険にそなえるためにどうしますか。</p> <p>・危険に備えるためにどうするか意見を出させる。</p>	<p>・答えを確認する。 (答えのスライドの提示)</p> <p>・預貯金と生命保険の違いについて、形、矢印の向き、縦軸、横軸について図を提示しながら説明する。</p> <p>・生命保険は、自分や家族の暮らしを危険からまもるために生まれた考え方であることを知らせる。</p>
	<p>3 生命保険のしくみについて知ろう</p> <p>青わくの人はどんな危険（リスク）が生じたのか、読みましょう。</p> <p>「準備」の仕組みと「給付」の仕組み</p> <p>社会保険料の推移</p> <p>読みました</p>	<p>3 生命保険のしくみについて知ろう</p> <p>青わくの人はどんな危険が生じたのか、読みましょう。</p> <p>・みんなで出し合ったお金（保険料）はリスクが生じた加入者に給付されることを説明する。</p>	<p>・「保険」のしくみとは？の図から分かったこと、気付いたこと、思ったことをグループで意見交流させる。</p> <p>・「社会保障給付額の推移」のぼうグラフの内訳の金額が増えていることをおさえる。</p> <p>・「相互扶助」について読み、知らせる。</p>
まとめ	<p>4 生命保険会社について知ろう</p> <p>(1) 生命保険は日本の家庭のどのくらいの割合で入っているでしょう。○をつけましょう。 3割 (10けんのうち3けん) 半分以上 9割 (10けんのうち9けん)</p> <p>(2) 説明を耳にしながら読みましょう。</p> <p>保険料を払っていただくこと</p> <p>保険料 → 保険金 → 給付金</p> <p>保険料 → 保険金 → 給付金</p> <p>保険料 → 保険金 → 給付金</p> <p>読みました</p>	<p>4 生命保険会社について知ろう</p> <p>生命保険は日本の家庭のどのくらいの割合で入っているでしょう。</p> <p>・予想させ挙手させてから答えを言う。</p> <p>・説明を教師が範読する。</p> <p>・キーワードを確認する。</p>	<p>・「自助」「共助」「公助」の役割分担の中で、生命保険会社は「共助」を担っていることを知らせる。</p> <p>・家に帰ったら、家族で我が家の備えについて話をするように促す。</p> <p>・答えを確認する。 (答えのスライドの提示)</p>

4 評価基準：生命保険について知り、危険に備えるしくみに興味をもつことができる。